

立檜 ～習慣は力なり～

旭川永嶺高校
進路指導部通信
令和 5 年 6 月 26 日
3 年次版第 3 号
(文責 横野)

前期中間考查を終えて

～ここから始まる次のステージ どう過ごす？～

学校祭準備がはじまる・・・自分の持ち味を活かすチャンス

学校祭はクラス全体で大きな目標に向かって進むことのできる貴重な機会でもある。その中で、自分にできることを見つけて自主的に活動したり、立ち足はかる困難を（学校祭準備期間には必ずある！）仲間と力を合わせて乗り越えたり、かかわり方により大きな成長にもつながる。

面接試験の際に、「高校生活の中で頑張ったこと」として、「学校祭の準備」をあげる生徒もいますが、「何を、どんなふうに、努力し、乗り越えたのか」など、具体的に語れるかどうかは、とても重要なのです。

最新の学校案内 配布はじまる・・・GET しよう

やる気スイッチを ON にするきっかけのひとつ。学校により様々な受験方法があることや、特待生試験などについて早めに知っておくと、いざ挑戦しようと思った際に、余裕が持てます。まずは自分でしっかりと読み、それから保護者の方と一緒に見て、一緒に考えてもらうことも忘れずに。

本校 R4 年度の進学者のうち、55%の生徒は、 推薦型選抜と総合型選抜で合格している！

(本校進路指導部長分析による)

推薦型、総合型、どちらの選抜も、その学校に進学したい理由をしっかりともち、自分はこんなふうに成長したい、というイメージをしっかりともち、求められます。そうなるためには・・・

◎ オープンキャンパスに参加し、自分がそこで学んでいる具体的なイメージをもつ

そして、せっかくの機会を「見る」「聞く」で終わらせるのではなく、「質問する」ことで、「しっかりと理解する」事につなげてほしい。もちろん「質問」は、事前に調べておかななくてはできないことなので、そうすることも、自分の経験値となるわけです。

◎ いくつかの選択肢を比較して、どんな環境で何を学ぶことを望みたいかを考える

最初から「ここにする！」ではなく、同じ系列の学校を複数調べて、比較検討しながら絞り込んでいくことが大事です。いろいろ比較する中で、自分がどんなふうになりたいのかも明確になってきます。多くの人にとっての進学先選抜は、その後の人生を決める大きな分岐点となります。間違った選択をして「もう一度やり直す」には、時間もお金もかかりすぎます。

どちらも「受験時期が早い」ので、進学先の検討は早くから始めなくてはなりません。さらに、必ず合格するわけではないので、一般入試に向けての準備も並行して進めなければならないので、時間を上手に使っていきましょう。

就職・公務員の人々は、来年の今頃は、もう社会人・公務

3年次の先頭を切って始まる就職、公務員試験への挑戦。来年の今頃は、社会人1年生として頑張っている自分があるはず。思い描いているとおりの自分になっているでしょうか。理想とする社会人の自分になるために、もしも足りないものがあるのなら、「まだまだ磨ける」と思えるものがあるのなら、残りの高校生活の中で**磨き続ける努力**をしてみましょう。目指している仕事とおして、自分はどんな風に社会の一員として役に立つことができるのかを、**具体的に考えてみると**、「磨きがい」もあると思います。

いつものように、社会科教室の前には、就職担当の先生による「考えさせられたり」「参考になったり」する話がたくさん掲示されています。進学希望の人にとっても、ためになる話もりたくさんです。



先輩からのありがたいアドバイス！

「やらなくてはならないことを、見える化する！」

あれもこれも、やることがいっぱい。で、何から始めれば良いのかわからなくて、結局時間だけが過ぎていく、という体験、珍しくはありません。「やること」を付箋に書き出してみる。やり終えたら一枚一枚はがしていく、と「やりとげた感ハンパない」という先輩がいましたよ。

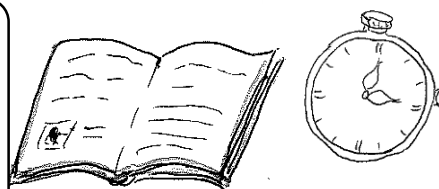
「スキマ時間を活用せよ！」

また、希望通りの進路を決めた先輩たちの言葉の中には、「スキマ時間」というキーワードがよく出てきます。朝、昼休み、放課後の自習室を上手にを使って、短時間であっても集中して学習に取り組み力をつけた先輩達はたくさんいます。そういう先輩たちは、部活動などの学習以外の活動もしっかりと充実させたりしています。

どのスキマ時間が使えるのか、自分の生活時間をふり返ってみてはどうでしょう。

7月の進路関係の行事予定

- 7／12（火）～21日（金）夏休み直前講習
- 7／14（金）推薦ガイダンス（対象者）
- 7／15（土）進研総合学力模試／公務員公開模試
- 7／21（金）総合型選抜出願指導
- 7／22（土）～夏期講習



それぞれの進路実現にむけて、取り組みは様々です。充実した夏になるよう、先を見通し、計画的に過ごしましょう